

令和元年第5回熊野町議会全員協議会

会議録

1. 招集年月日 令和元年7月1日

2. 招集の場所 第1委員会室

3. 開会年月日 令和元年7月1日

~~~~~○~~~~~

4. 出席議員（15名）

- |           |          |
|-----------|----------|
| 1番 水原耕一   | 2番 福垣内邦治 |
| 3番 光本一也   | 4番 中島数宜  |
| 5番 尺田耕平   | 6番 竹爪憲吾  |
| 7番 諏訪本光   | 8番 沖田ゆかり |
| 9番 片川学    | 10番 時光良造 |
| 12番 荒瀧穂積  | 13番 山吹富邦 |
| 14番 山野千佳子 | 15番 中原裕侑 |
| 16番 大瀬戸宏樹 |          |

~~~~~○~~~~~

5. 欠席議員（1名）

- 11番 民法正則

~~~~~○~~~~~

6. 本会議に職務のため出席した者の職氏名

- 議会事務局長 西村隆雄

~~~~~○~~~~~

7. 説明のため出席した者の職氏名 なし

~~~~~○~~~~~

8. 案件

【議会】

- (1) 各常任委員会の活動状況について（報告）
- (2) 議会運営委員会の活動状況について（報告）
- (3) 議会広報特別委員会の活動状況について（報告）

(4) 災害に関する特別委員会について (協議)

(5) 議員住所等のホームページ掲載について (協議)

(6) その他

~~~~~〇~~~~~

9. 議事の内容

(開会 9時35分)

○議長 (大瀬戸) おはようございます。

議員の皆様方、本日は、お忙しい中を、全員協議会にお集まりいただきまして、ありがとうございます。

皆様からさまざまな御意見をいただきながら、本日の全員協議会を円滑に進めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

それでは、ただいまから全員協議会を開会します。

本日の全員協議会は、議会からの報告案件3件、協議案件2件について協議をいただきたいと思っております。

~~~~~〇~~~~~

○議長 (大瀬戸) それでは、早速、協議に移ります。

報告案件、各常任委員会の活動状況について、各常任委員長から報告を受けたいと思います。

それでは、竹爪総務厚生委員長、お願いします。

~~~~~〇~~~~~

○6番 (竹爪) おはようございます。先般6月28日金曜日、14時から総務厚生委員会を開かせていただきました。6人の全員の委員が出席いたしました。議題として、平成30年度の主要事業の実績状況について、令和元年度の主要事業の概要及び課題等について、総務部、民生部から報告を受け、総務厚生委員会の活動計画を策定しようと思ったんですが、時間が足らなかったものですから、この7月の10日に再度、活動計画の策定にさせてもらうような形になりました。以上でございます。

○議長 (大瀬戸) はい、ありがとうございます。次に片川文教委員長お願いします。

○9番 (片川) 5月24日、文教委員会開催いたしました。主な協議事項としてですね、年間の委員会活動についてとその他なんですが、活動計画表の作成と、視察研修、県内町内外の視察研修についての協議、それから6月18日第3小学校の道徳教育の授

業の見学に行っていました。それと、ブロック塀改修工事視察現場の、現場の視察をさせていただきました。6月24日教育委員会と30年度の主要事業の実績状況と、令和元年度の主要事業の概要及び課題について、そして小学校給食の概要聴取及び試食をさせていただきました。以上でございます。

○議長（大瀬戸） ありがとうございます。次に尺田産業建設委員長お願いします。

○5番（尺田） 産業建設委員会より報告いたします。産業建設委員会におきましては、まだ開催しておりませんが、本日午後より開催する予定となっております。議題でございますが、昨年度の主要事業の実績及び本年度の主要事業の計画、そして本委員会の活動計画の策定について協議をする予定でございます。また、協議後、現地視察を行う予定でございます。以上でございます。

○議長（大瀬戸） ありがとうございます。各常任委員長からの報告が終わりました。この報告について質疑があればお願いいたします。質疑はありますか。

ないですね。それでは各常任委員会の活動状況についてはこの程度として、次の報告に移りたいと思います。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 報告案件、議会運営委員会の活動状況について、議会運営委員長から説明を受けたいと思います。それでは時光議会運営委員長お願いします。

○10番（時光） 議会運営委員会としては、まず5月の10日ですね、臨時議会の前ですね、議事日程について監査委員の選任等の協議をいたしました。続きまして6月6日、6月議会を前ですね、協議事項としては、会期の決定について、会議録署名議員の指名について、議案等について、陳情書、要望書等についてということで協議をいたしました。以上でございます。

○議長（大瀬戸） ありがとうございます。この報告について質疑ございましたらよろしくお願いします。

ごさいませんか。それでは議会運営委員会の活動状況についてはこの程度として、次の報告に移りたいと思います。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 報告案件、議会広報特別委員会の活動状況について、議会広報特別委員長から説明を受けたいと思います。それでは諏訪本議会広報特別委員長お願いいたします。

○7番（諏訪本） 広報委員会では、5月の17に、一番最初の会議をもちました。ここで、新しいメンバーでスタートするにあたってのいろんな分担等について話をしてみました。それから5月の31日に、大体4回会合をもつんですけども、その第1回をここでもちまして、それぞれの分担、あるいは内容等について協議をしました。特に今まで山のシリーズ、実際、災害で中断したんですけども、山のシリーズをあそこで一応締めにしましたので、このたび何をするかということで協議した結果、こども夢プラザで行われております、ブックスタート、この生後5カ月の子供さんと、お母さんが集まっておられる、たんにメンバーも替わってくるので、そこへ行って、子供たちの災害等も含めて、子供たちの将来の夢やら、そういった将来について明るい展望がもてるような記事にしていきたい、そういう中で町民の皆さんの声を取り入れていきたいというようなことで、今、広報委員会のほうで準備を進めております。今、第3回に向けて皆さんからのいろんな一般質問その他の記事等を今、集めておる段階でございます。今後ともよろしく申し上げます。今日はありがとうございました。

○議長（大瀬戸） ありがとうございます。それではこの報告につきまして質疑はございますか。

荒瀧議員。

○12番（荒瀧） 今日、写真ということで突然出てきたんですが、委員長さん前から、4年前だったと思うんですが、公聴会、町民の意見を聞きたい聞きたいという中で構想を練っておられると思いましたが、そのあたりの広報の全体的なビジョンですよね。いかがお持ちでしょうか。

○議長（大瀬戸） 諏訪本委員長。

○7番（諏訪本） これはあくまでも個人的な話になりますから、広報委員会で話をしたことではないので、全部喋ればあれですけども、今私の方向としては、先ほど言いましたように、町民の皆さんの声を入れるということで、2年前ですか3年前ですか、ワールドカフェを広報委員会として第1回をやったのを記憶しておりますけれども、その続きの中で、このたびの今のブックスタートですか、これを始めていきたいと。その今の公聴委員会等につきましては、これはまた広報だけで云々じゃないですから、やはりこういう全員協議会等で皆さんで協議をして、皆さんの総意に基づいて進めてまいりたいというように思っております。

○議長（大瀬戸） ありがとうございます。

荒瀧議員。

○12番（荒瀧） ぜひ、そのビジョンをもっていただいて、今の様子を見ますと、今までどおりの事務处理的な広報になるんじゃないかと思う中で、すき間があいたから入れようかというスタンスよりも、そのきちっとしたビジョンの中で、町民の御意見をその欄に入れるという可能性も十分考えられますので、ぜひビジョンを出していただいて、皆さんの中でオーソライズしていただきたいと思います。

○議長（大瀬戸） よろしいですか。

ほかにございますか。それでは議会広報特別委員会の活動状況についてはこの程度として次の協議に移りたいと思います。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 協議案件、災害に関する特別委員会について協議したいと思います。

災害に関する特別委員会につきましては、前回5月31日に開催した全員協議会で協議し、議員それぞれが意見をまとめた上で、改めて協議するとしたものでございます。この一月間でまとめていただいていると思いますので、その御意見や質疑などをここで発表していただきたいと思います。御意見ございますか。

沖田議員。

○8番（沖田） 私は、設置するべきであるという考えなんですけれども、これはですね、災害というのは、災害の起きた年1年間で終わるものではなく、今後ですね、議会の中でも、国でも申しておりますが、中心になって考えていくべき防災、減災ということは議会でも議論していくべき課題だと思っておりますし、災害対策特別委員会というのではなくて、災害復旧復興調査特別委員会という形です、設置をするべきだと思います。町執行部が、今復旧復興に向かって懸命に努力していただいておりますけれども、住民代表である議会、我々議会も、それは責任の一端を担っているわけがありますので、これは当然設置すべきものと考えております。以上です。

○議長（大瀬戸） ありがとうございます。今、復興委員会というような形でしたらどうかという意見でございました。ほかにございますか。

山吹議員。

○13番（山吹） 今、沖田議員が言われたようにですね、それにつけ加えて、防災の面もですね、踏まえて、委員会を設置したらどうかと思います。以上です。

○議長（大瀬戸） はい、ありがとうございます。今、防災も復興と合わせて、防災もという意見でございました。ほかにございますか。

時光議員。

○10番（時光） 私は、もう一度つくりましたので、立ち上げる必要はないと思います。ただ、議員として何をすべきかということは、発災からですね、ずっと皆さんいろんな動きをして来られました。ボランティアで働いた方々、スコップを持っていかれた方々、皆さんいらっしゃったと思います。その中で、自主防災組織ですかね、こういったものが各地で立ち上げられております、今12だったかな、こないだの話だったら。まだまだそういう動きがあると思います。私も実はそのうち5つの自主防災組織の中にかかわっており、名前もそこに入れてもらってます。で、実際、もう月に1回か2回は話し合いをもち、場所によっては葵団地のように、県のモデルケースになっていろんな方に来ていただいて、説明会等やっています。で、避難準備からですね、避難勧告までの動きいうものも全ていろんな訓練もしておられますし、それに参加しています。その中でやはり、皆さんの意見それぞれ聞いてですね、それで行政のほうへ働きかけたりもしていますし、それぞれ皆さん、例えば平谷地区だったら、あの当時自治会長しておられた中島さん、やはり今回の選挙出られたのもそういうことがきっかけだと思いますし、で、皇帝ハイツですかね、水原さんのほうもその立ち上げの動きがあります。やはり議員としては確かに、今、復興のほうに向かっておりますので、それぞれ皆さんの一番大事なのはそれを検証することでもありますけれども、やはり住民の方の意見をいかに吸い上げて、それに持っていくかということだと思いますので、そういった意見はですね、わざわざそういうものを立ち上げなくても、こういう全協の場ですね、その都度皆さん提案されて、それから議会として行政のほうに話を持っていけばいいと思いますので、もう少しですね、それぞれ皆さん地元なり地権者の方と、もう少し、一町民として、もちろん議員ではありますが、一町民として参加しておれば、やはり議員として皆さんから意見がくるべきでありますし、それを吸い上げる努力をすべきだと思います。ここで、復興委員会、検証委員会等をつくってですね、一段高いところへ我々が動くのも必要かと思いますが、先ほど話したように、これは全協等で話しできることだと思いますので、その必要はないという意見です。以上です。

○議長（大瀬戸） ありがとうございます。

荒瀧議員。

- 12番（荒瀧） 私としてのビジョンはですね、やはり南海トラフが必ずまいります。これについて備えておこななくちゃいけない。豪雨は万がよければこない場合もありますけれども震災がまいります。そんな中でいかに備えておくべきかと。で、前回の検証委員会の報告書が出ておりますけれども、チェックしなくちゃいけない項目が何点か指摘受けております。これがチェックできるのは私どもしかないんです。だから時間的にどの程度とるかはまた別途協議といたしましても、備えるべきものは、私らであり、次の世代のためにも、この委員会は継続して設けるべき委員会であると思っております。

- 議長（大瀬戸） ありがとうございます。そのほかにございますか。

今、すべきという意見、それから必要がないという意見両方出ましたが、目的といたしまして、意見としては、復興という方向でやる、あるいは防災という見地でやるのかのような意見でございました。そのあたり御意見ないでしょうかね。まず、やるやらんという問題もあるんですけども、やるとしたら、じゃあ何をやるのかっていうことも含めて、何か御意見ございませんか。

片川議員。

- 9番（片川） 復興だけという目的だけじゃなくしてですね、もちろん今からの防災もあるでしょう。ただ、災害特別いうものを一遍閉めたんだから、これはこれでなしでいいんだということじゃいかんと思うんですよね。目的としては、なぜその災害が起きたか、というような検証していく場合は3月いっぱい終わったわけですよね。ただ、これは継続をしていかなければいけないところだろうと思うんです。全般的に、今出た意見を含めてね、全般的な委員会にしていかないと。復興していくんだよと、今からの防災にかけてもやっていくし。ただ、たった1年前に起きたことを忘れるようなことがあっては町民代表としては言えない。あってはならないと。それは自主防災会も大事でしょう、これを立ち上げていくのが、自治会を主体にして、町をまた主体にしてやっていくのが一番理想でしょう。ただできるところはいいでしょうよ。100%の住民がそれに参加できるものがいつできるんですか。それを私は聞きたい。できるところはいいでしょう。これ自己満足で終わったら、町民全員を助けないといかんのです。助けるための知識を植えつけていかなきゃいけない。そして町の行政としてしっかりやったださつとる中で、これも我々も言葉は悪いですが、目を光らす

のが議会ですよ。議員一人一人いうのも大事でしょう。ただ、議員一人一人の活動と、プラスアルファ、この議会、なぜ16人いるのか、これちょっと考えていただきたい。一人やっとならばいい、いうもんじゃない。個人個人でみんながやればいい、いうもんでない。全協でそれだけの意見が全てできるのか。16人全員が喋ったことがあるのかと私は聞きたい。そういう面を含めてですね、委員会いうものをかちつつくっていかなければいけない。これは、今回、特に今回は、議員として皆さん一人一人市民の支持を受けて付託を受けた以上は、これ今回はどうしても逃れられない責任です。たった1年前ですよ、よく思い起こしてみてください。全体で、いろいろな目的をもった上で、特別委員会は終わったんだ、災害特別は終わったんだっていう感覚じゃなくしてですね、一旦けじめはつけました。これは改選があったからですよ。改選がなかったら、あのまままだ続けたいところだったんですよ。もっと協議すべきなんですよ。ときには自分たち議員一人一人戒めながら、いろんなことを考えながら、町の将来に向けて安全安心の町をつくっていくために議会いうものがどうあるべきなのかいうことを考えてですね、いろいろな意味を含めてやるべきだろうと思いますね。

○議長（大瀬戸） という意見でございます。

はい、じゃあ水原議員。

○1番（水原） 僕、今、皇帝ハイツの自主避難組織というところにかかわらせてもらってるんですが、さっき時光議員やらほかの人たちの意見を聞きまして、両方ともすごい大切なことだと思っているんですよ。ただ、僕、今皇帝ハイツのことに関して言えば、とにかくやっぱりそこの住民の人っていうのがもう、その人、皇帝ハイツの人だけが動くっていうことしか考えてないんですよ。周りの人間、よそのところはよそのところで大切な避難の仕方を各々で考えていくっていう思いじゃろうと思うんですよ。で、僕はとにかく皇帝ハイツっていうものをどうしたら、今その自主避難組織の中にかかわらせてもらう立場上、どうやってその人たちを安全に守るかっていうことを、今、住民の目線になって考えていったほうが僕はいいのかなと思っています。まあ、ここで皆さんがそれぞれ意見を出しあって、ここで議論するのも大切とは思いますが、その今、去年あったこと、今年こそ皆さん住民の人と一緒に目線を下げて喋っていくって、相談していくっていうことのほうが僕は大切じゃないかなと思います。ですので、立ち上げるっていうふうじゃなくて、そうじゃない、各自治会自治会で行動を起こしていくっていうような感じのほうが大切だと思っています。以上です。

○議長（大瀬戸） 尺田議員。

○5番（尺田） 済みません。それでは私の個人的な考えなんですけれども、また、いつ昨年のような災害が起こるかわかりません。わからないので、一応、そういった、即座に議会として対応できるように、緊急といいますかですね、ああいったときに対応できるように、設置だけはしておいても、準備だけはしておいてもいいのかなというふうには私は思っております。ただ、先ほど時光議員さんが言ったのもわかるので、しっかりとしたテーマがあるときのみ開催ということで、準備という意味で設置だけはしておいたほうが良いような気が私はします。以上でございます。

○議長（大瀬戸） そのような御意見でしたが。

片川議員。

○9番（片川） まあ、やめときましょう。

○議長（大瀬戸） そのほかございますか。

荒瀧議員。

○12番（荒瀧） 先週の土曜日、先々週かな。鍵屋一さんという方が御講師で来られました。で、私は1時間ほど聞きましたが、前の席のほうに光本委員さんと竹爪さんの姿が見えたように思うんですが、ちょっと御意見、あの方の防災教育について、日本の教育の中で防災教育が落ちていると、要は明治以降ね、この話もあったんですが、ちょっと御感想を聞いてみたいんですがいかがでしょうか。

○議長（大瀬戸） どうでしょうか、特にございますか。

光本議員。

○3番（光本） 参加しましてですね、大変いい講義でした。やはり一人一人の、住民一人一人が考えないけんということが力説されました。そのときに私が考えたのが、やはり議会の役割はどんなのか、住民の役割はどんなのか、執行部の役割はどんなのかというところで、ちょうどこの特別委員会の継続か否かを含めてちょっと頭にめぐらせました。やっぱり私が気になったのが、去年まで執行部におりました。で、基本的にはやっぱり窓口は二つつくるべきじゃないと。基本はやっぱり行政です。行政がやはり住民の自助をどうやっぱりつくっていくか、共助をつくっていくかということも含めて、これはやはり行政がやらないといけません。で、やはり行政が軸で動くと、執行部が。それに対して、じゃあ議会がチェックをしていく、提言をしていく、不足分はどんなのか、いうところをその都度正す機会があります。ですから、ちょっと話が飛

ぶんですけども、先週の講義を聴きながら、そういうところがまあ再認識した講義でした。あわせて言えば、結論から言えば、時光議員に同感で、継続は今の段階では特段必要なテーマはない、ということで必要ないと。ただし、執行部等の取り組み等についてはしっかりとチェックする、全協等で、ということが必要であるというふうに考えます。以上です。

○議長（大瀬戸） はい、ありがとうございます。

じゃあ竹爪議員。

○6番（竹爪） 私も、あの日は最初から最後まで出席してました。その中で、先生の言われたことも随分あるんですが、やっぱり地域地域の問題点であるということも言われました。その中で、避難所の問題もちょっとお話されましたときに、よその、熊野町の場合は段ボールのベッドがあるわけではないし、そういうものもなかったんですが、あのときに高齢者の対応についてなんかとかね、寝たきりの方の話も出たときに、床へ座って食事をとる、前かがみでとる、体を動かせない人の場合は非常に環境悪いんだけど、こういう避難所に2、3日おるというのは、ある反面待遇のことも随分言われましたけど、命があったらいいのではないか、それからまた長期のビジョンになっていたときにどうすべきかっていうのもお話しになりました。その中でまた、熊野町のことも見てらっしゃって2万4,000人の全員が避難できる場所はないでしょうと。2万4,000人がいちにのさんで。在宅避難ということも言われました。今回の災害では、水道、電気が大丈夫だったので、在宅避難で、もし水道電気がとまった場合は食事がとれないときには、避難所に行って食べられるもの、お水飲むのも話も出されたと思ってます、私自身。熊野町は今回の災害で電気、一部は電気通じないところもあったのは確かです。だけど全体的には水が出たので、ある程度お家でもそういう食事の面はとれたのではないか。ただ、私もまた改めて、やっぱり亡くなった人のことについては随分思ってます。その中で、もう一つ言われたのが、ハザードマップを町内を見られて山沿いのことも言われたし、川の流域沿いのことも言われました。ここに役場庁舎の目の前に川が走ってますので、道上川に対して、もし大きな水が出たときにはあふれるであろうというようなことで、そういう御指摘も受けました。だけど、今後とも前向きに、私自身は、さっきのお話もあるんですけど、設置いうことは僕はある程度いいんではなかろうかというのが自分の思いでございます。特別委員会の設置はあってもいいんだけど、またそのテーマごとで集まるとかいう形でもいい

のかなという、まだはっきり私自身やめてしまうのもいいのかじゃなくて、やっぱり地域の防災は、それぞれの地域の特徴もありますので、そのあたりの動きもお伺いをしながら前に進めていきたいというのは自分の思いでございます。以上でございます。

○議長（大瀬戸） ありがとうございます。

はい、中島議員。

○4番（中島） 私も、いろいろ皆さんの御意見を今いろいろ聞いて、その都度、あんなほどなというのを感じたところです。まあ特別委員会が3月でしたっけね、終わったと。8回ほど、ちょっと記録も見させていただきまして、全般議員の方々がですね、いろいろ活動をされた結果が完了ということで一定の決着を見とるというふうに私なりに理解したんですけども、この間、そういった災害があったおかげと言ったらちょっと語弊がありますが、やっぱり議員を含めて、町民の方々皆さん意識の醸成はかなりできたんじゃないかと思うんですね。いつどこで何がどういうふうにかかるかわからない。そのときにどのようにしようっていうのは、自主防災もそう、4つ5つしかなかったものが、今13もできてるというふうなことは、結局は地域の方々を含めて我々も意識があがったために、そのような結果になったんだろうと思うんです。そういった意味で、8回が終わったからもういいよということでは、多分いけんだろうと思うんですね。どういう形で、我々がそういう意識の気持ちをずっと高めて維持していけるか、そういう気持ちはもつべきだろうと思うんです。で、それをもつ中で、一つの手法としたら、先ほど尺田議員がおっしゃられました、ある程度テーマが見えたときにそういったことが柔軟に対応できる、そういう意識でおれば、一つ結束ができるのかなというふうに思います。ただ、災害に関する特別委員会っていうのは、完了という報告がされておる以上、私はその必要はないのかなと。違った観点で、そういうときにいつでも対応できるように気持ちをもっておいたらどうかなという感じがしました。以上です。

○議長（大瀬戸） ありがとうございます。

荒瀧議員。

○12番（荒瀧） 今の中島議員のお話を聞きながら、ちょっと補足をさせてもらわないけんことがあるかなと。結果報告は出しておるんですが、あれは短期、中期、長期というビジョンでまとめております。ということは、短期的には終わっておるんです。

中期、長期がまだです。まちづくり全体をしていこうと、災害死ゼロの町に、というのは、この盆地で、随分災害が多い町であるのがわかりだしたということ。で、弱い川もあり、橋もありという点では、あれは継続した結論でございます。ただ、今言われるように視点を変えていく必要はあろうかと思うんですが、で、前回中林さんという首都大学の先生の御講義を聴きましたね。この先生は2倍の災害を想定しなさいと。どこからも応援に来てもらえない状態も想定しときなさいよと。で、関連死をできるだけ避けましょうと、いうのは施設の避難じゃないんですよ。地域の住宅に知り合いの家に避難さすほうがより関連死が減るよと。トイレも使えて、細菌の感染の問題も随分ひどくなると。ただ熊野に、前回のように1カ月余り避難する想定はどの程度あるかはわかりませんが、避難は一時避難はそういう場所でいいんですが、長期避難となったときには避難所は危ない場所になりますよという、私は捉え方でございます。ですから、強靱化、地域の強靱化の視点も踏まえて、まちづくりを踏まえて、私は検証を積み重ねておかないと、私らが生きてるうちに起こるかどうかはわかりませんが、本当にきます、地震、南海トラフ。こうしたときには、町、海田町、坂町の方ら、どこへ逃げられるかも想定しておく必要があるかと思えます。以上でございます。

○議長（大瀬戸） はい、ありがとうございます。ほかにございますか。

片川議員。

○9番（片川） 先ほど来話を聞いて、意見はいろいろそれぞれ個人的にあるんでしょうけど、基本申し上げたいのは、町執行部と議会というところの違いの認識を、再度勉強していただきたいという気がします。町行政に対して、それに従うのが議会ではございません。逆らうのも議会じゃございません。ちゃんと住民からの意見も吸い上げながら、町執行部の動きも見ながら、議会がどういう活動の立ち位置でおるかいうことを、もっと考えて話していただければ違ってくるんじゃないかなという気がいたします。それはもちろん自治会も自分の地域の活動も大事でしょう。これが集まって熊野町になるんでしょう。ただそれから漏れる人もおられることが頭になんかな。被災された人の気持ちは頭になんかな、随分薄れてきとるような意見が今飛び交うようなあいうような気がいたします。再度ですね、それは個人的な感覚なのでよろしいんですが、議会というものの立ち位置いうものをですね、もうちょっとみんな考えてみるべきじゃないかな、本来の議会の姿、今、それぞれのお話を聞きよると、町執行

部の言うこと聞いとれや。住民の話だけしとけやいうように聞こえる部分もあります。どこに議員として、それが集合体になった議会の役割いうものをです、もうちょっと考えてみないといけないと。その中で答えは変わってくるんじゃないかないうような気がして今、聞いておりました。

○議長（大瀬戸） はい、ありがとうございます。

時光議員。

○10番（時光） 今出ている自主防災、漏れる人がいるという話ですが、まあ、ちょっと個人的な私の思いですが、新宮初神で団地が5つ6つあります。私はまず立ち上げるには団地で立ち上げて、その点を塊の線で結んでいけば、また一つの大きな塊になるんじゃないかなというふうに話を住民の方にもしてます。もちろん、土岐の城団地とか、湖翠園とかそのあたりも、ちょっとお話をすることあるんですが、私のテリトリーじゃないから遠慮してる部分もあるんですけど、漏れるところが出てくるかもしれません。後、さっき竹爪さんから話があった、2万4,000が避難できるかできないか、これ大きな勘違いしておられるんですよ。避難勧告、避難指示は安全なところへ行ってくださいと、中溝の真ん中に住んでる人がわざわざ逃げる必要はないんですよ。川が隣にあれば別ですが、イエローゾーン、レッドゾーンの方が逃げてくださいという意味なんですけど、ただ突発的に川でも氾濫した場合に何で言うてくれなかったんやということがあるので、全員、勧告指示となっておりますけど、本当に避難すべき人間というのは限られてると思うんですが、そうしたところの方を点を線で結んで、我々がやっていくっていうのも一つ必要なことだと思います。また、今、片川議員が言われたように、皆さん捉え方っていうのはそれぞれあると思いますけど、そのやはり、何度も申しますが、私は住民の方に寄り添ってですね、自分の立場として、うちで執行部のほうに、議会に上げてものを申すべきだと思いますし、この検証報告書、確かに荒瀧議員言われたように、チェックすべき点もあるかと思います。これこそ、その都度、ここで話をしてですね、執行部に次のときに来ていただくなりすれば済むことだと思いますので、今の段階では立ち上げなくても、今言われた準備は必要かとは思いますが、今のところは必要がないというのが私の意見です。

○議長（大瀬戸） 片川議員。

○9番（片川） そこらがね、私は論点が違う思うんですよ。自治会のことは自治会ですよ。自主防災会のことは自主防災会ですよ。無論、それも我々は無視できない。そ

れは考えなければいけない。その中でそういうことも議論しなければいけない。全く無視をするんでない。それはそれ、これはこれいうことをちゃんと考えていただいですね、行政はまた行政。自治会は自治会。自主防災会は自主防災会。議会はどこにあるんですか。議会なんか要らんのですよ。16人の議員が集まったら議会は何をすべきなのか。住民目線に立ってですね、住民の視点に立って、住民の気持ちも考えながら、生活の安全安心を考えながら、一つの課題ですよ、これは。せないけんことはたくさんあります。ただ、それをこの議会で話すべき。考えなければいけない、ときには検証もしなければいけない。その責任を担って皆さんでとるわけですよ。それはね、おっしゃることよくわかる。自治体、自主防災会。これええでしょうよ。これはいいことです、これはどんどん進めていくべきなんです。で、全体に広がるように皆さんで議論していかないといけない。議会いうものをどういう立ち位置に皆さん置いておられるのかな。別に上でも下でもないんです。住民代表として住民の付託を受けて、この16人集まるとるわけですから、それぞれ任せておけやと、自主防災会に任せ、自治体に任せ、自分らそれぞれ、それに寄り添うとけて、そんなこと今になって言わんでも昔からやっとするはずじゃないんですか、皆さんこうやって手をあげられた議会人なら。ですが、こういうことが起きたんです、去年。感覚がちょっと、言葉は非常に失礼な言い方でしょうけど、平和ぼけと言うか、自分たちがその災害にあってないから、その視線でものを言っていないかな、今こそ、今の発言が住民目線じゃないんじゃないかなという気がして聞いております。

○議長（大瀬戸） はい。ありますか。

諏訪本議員。

○7番（諏訪本） この前も総務委員会で、特に防災の関係あたりは総務委員会が関係すると思って随分意見を言わせてもらったんですが、私はやはり今の自主防災組織についても、基本的にはやはり土砂崩れに対する組織になっているのではないかなというふうに思っております。そういう面で言ったりすると、やはり先ほどから出ておりますように、地震等のことは非常に怖いなという気持ちでおります。ほんで町の防災計画も基本とですね、基本計画と地震と2部構成で現在のものはなっております。そういう面で言ったりすると、このたびの土砂崩れの災害で町の幹部の方が初めてのことだからという言葉聞いて、非常に私は残念、あるいは怒りを感じたんですけども、やはり皆経験したことを今度その対応をするというような災害についてはですね、そ

ういうレベルではないというふうに思っております。だからそのときにどんだけのことができるかということ考えたときに、やはり今の防災計画についてもこの前言いましてけども、大綱なんですね。だからそのできるだけ具体的なマニュアルをですね、どんだけ突き詰めて我々が町の執行部のほうから、そういった方法やらについて搾り出していくか。そういった意味では、私はこういった委員会つくっておいて、ぜひそういった場面場面で協議をし、防災計画だけじゃなしに、先ほど言いましたようにその続きのマニュアルの部分も含めて、しっかり練っておくべきではないかというように思っております。以上です。

○議長（大瀬戸） ありがとうございます。そのほかございますか。

荒瀧議員。

○12番（荒瀧） それで、私らは前回、前年から見ておりますから、執行部のほうからは実は災害復興で東の公民館の建てかえと合わせて、避難施設をずっと動きだしたんですね。そんな中で町全体の予算の中でバランスのいい復興になっとるかどうか、ちょっと東部にあまりにお金を使い過ぎちょらんかというチェックが入ってないわけですよ。東の方は欲しいという要望があって、その流れは結構なんです。その根っこは東の振興というのを、今の町長思われておるわけですね。それからその根っこの中で、あっちを活性化しよう。そんな中歩いてわかられると思うんですが、あっこへトンネルが1本欲しいという意見は前からあるんです。で、今回の災害でも西だけじゃなくて東からも逃げたいもんは道がある。外部からも入ってこれる道があると。でもこれは執行部ができませんって逃げとるわけです。今の技術力からしたら不可能はないですよ。じゃあいかに予算をとってくるかっていうのが、また私らの役目なんですね。町長への提言としても。だから災害全体の復興の中のバランスで、町の財政基盤がどの程度あるか。税収が町にどれだけあるのか。今後どの程度を見込めるのかとかね。非常に災害について言えば備えておくべきことはたくさんあるんです。ぜひこれはね、継続して、その部分部分を継続して、皆さんで共通認識をもっておく必要があろうと、私は思います。

○議長（大瀬戸） ありがとうございます。今皆さんの御意見、多様な御意見が出たと思います。まあ大きく分けてこのまま継続してすべきという意見と、それから設置だけして必要あれば集まるという御意見と。それから設置しなくても構わないというような御意見。大きくこの3つに分かれたような気がします。これ、皆さんにお諮りしま

すけれども、どういう決め方がよろしいと思いますか。決をとるとか、いろんな方法がありますが。

○12番（荒瀬） 合意形成、それぞれの考えを皆さん出されて、急ぐことはない。

○議長（大瀬戸） そういう御意見ですが。

○12番（荒瀬） 検証報告書も読んでいただいて。

○議長（大瀬戸） それについてこのこの決め方につきましての御意見というのはございますか。

○12番（荒瀬） そいじゃ済みません。次回チャンスがあれば、例の災害対策特別委員会の報告を皆さんにさせていただくという道もあろうかと思えますね。もう一度、オーソライズさせてもらおうと。

○議長（大瀬戸） そういう御意見ですが。まあこういう特別委員会に関しては、時間をかけることには問題はないとは思いますが、もしその間に大きな災害が起きれば、それはそれで対応しなければならんとは思っておりますけれども。

○12番（荒瀬） それは要綱できてますから。

○議長（大瀬戸） そういう意味で、どうでしょうか、次の回にね、次の回に、検証委員会の資料を皆さんもらってますよね。あれも含めて、少し時間を1時間ほど議論の時間をとって、それで決定したいと思えますがどうでしょうか。よろしいですか。それは、じゃあ来月ということにさせていただきます。で、来月皆さんの最終的には合意という形で何らかの形で結果を出しますので、よろしくをお願いします。

それでは、以上で災害に関する特別委員会についての協議を終了いたします。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸） 次の協議案件に移ります。

議員住所等のホームページ掲載について協議したいと思います。議員住所等のホームページに掲載についても、前回の全員協議会で協議し、議員それぞれが考えをまとめた上で、改めて協議するということになりました。これも前回に続きまして、先送りをしたという形になっております。これにつきましては、ぜひ今回で決着をつけたいと思います。これにつきましての議員、質疑や御意見等ございましたらよろしく願いいたします。

片川議員。

○9番（片川） 統一せないかんのですかね。別にそんなに縛りをつけんさらんでも。の

せやういう方向性でおっしゃるんなら、のしとうない言うての人はのさんでもいいんじゃないんですか、別に。

○議長（大瀬戸）　ということは、のせたりのせんかったりするということ。

○9番（片川）　いろいろ思いがあって、のしとうないと思うての人は、住所だけならええよいう人もおりんさりゃ、電話番号だけならええよいう人もおりんさりゃね、別にそがんとこでかっこつける必要もないので、議会も。

○議長（大瀬戸）　じゃあ、個々の希望でのせたりのせんかったりしますよという御意見ですが、ほかにございますか。

山吹議員。

○13番（山吹）　これもですね、2カ月前になるとと思いますが、選挙のときにですね、リーフレット等を配ったりして住所、電話番号、生年月日まで皆さんいれられとると思うんですよ。この際なってから伏せるようなこともどうかなという思いもしますしですね、これは臨機応変に先ほど片川議員さんが言われたようにですね、かぶる点があるんですが、そのあたりは臨機応変にですね、やったらいいんじゃないかと思えますけども、どうでしょうか。以上です。

○議長（大瀬戸）　そういう御意見ですが、ございますか。

じゃあ今お二方の御意見集約しますと、臨機応変いうことでしたので、載せてほしくないという方がいれば、そこは載せない。構わないという人は載せると。こういうことでよろしいでしょうか。よろしいですか、はい。それではそうさせていただきます。

それでは準備でき次第、そのようにホームページのほうを変えていきますので。もし要望がございましたら、事務局のほうに、例えば住所はいいけど電話はやめてねとか、そういうことがありましたら事務局のほうに個別に言っていただければと思います。で、何もない方につきましては、住所と電話番号をのせます。よろしいですね。わかりました。携帯はのせませんが、のせてもいいよという方はそれはそれでも。

以前配りましたこの名簿ですよね、郵便番号と住所と家の電話、これぐらいになると思います。よろしいですね。もし差し支えない人は事務局に言う必要はないです。よろしくをお願いします。

それではホームページの掲載につきましては以上で終わります。

~~~~~○~~~~~

○議長（大瀬戸）　その他でございます。何かございますか。ありませんか。

それではこれもちまして全員協議会を終了したいと思います。

(閉会 10時21分)

上記の記録の内容が正確であることを証するため署名する。

熊野町議会議長

熊野町議会副議長